



なかそらち
会 議



住めばなかなかなかなかそらち

Fukushima Sangyōgun, Akihito
Akahira, Utsunomiya, Niya, Kamisanagawa
Utsunomiya Shintoshokan Heijū

kaigi.nakasorachi.com

中空知で暮らす10人にインタビュー

なかそらち 仕事図鑑!



住めばなかなかなかなかそらち
Tokushima, Iwagawa, Akhito
Ushiro, Wadaiwa, Nao, Kaminagawa
Hanao, Kitatsukawa, Higo
kaigi.nakasorachi.com

今も昔も、
地域を盛り上げるエネルギーは
なかそらちで働く
一人ひとりのチカラです。

地域に根付いていたのは、
自然と生きる人々の
たくましい人間力でした。

炭鉱で栄えたまち。
農業が盛んなまち。
それが、なかそらち。

なかそらちには
チカラがある

Contents

仕事人インタビュー

- 04 滝川市
- 06 砂川市
- 08 芦別市
- 10 赤平市
- 12 歌志内市
- 14 奈井江町
- 16 上砂川町
- 18 浦臼町
- 20 新十津川町
- 22 雨竜町
- 24 移住支援情報
- 27 移住相談窓口



中空知とは？

札幌市と旭川市のほぼ中間地点に位置し、滝川市・砂川市・芦別市・赤平市・歌志内市・奈井江町・上砂川町・浦臼町・新十津川町・雨竜町の5市5町からなる地域。北海道有数の農業地帯であり、かつて炭鉱で栄えたエリアとしても知られる。

※ 唯木さんの休日 ☺

9:00 起床
 9:30 朝食・家事全般
 掃除や洗濯等、平日にできないことをやります

12:00 友達とドライブ
 道の駅や気になったスポットに♪

13:00 昼食
 行き先がかった戸別市の温泉へ！

16:00 温泉へ

18:00 帰宅

19:00 夕食
 焼きそばを作りました

24:00 就寝

【会社情報】



株式会社クレストジャパン

滝川市流通団地1丁目2番4号 TEL 0125-23-7020
<http://www.crestjapan.jp/>
 従業員数/60名
 事業内容/食品製造業

自社商品のチーズ系スイーツや畜産スモーク、OEM商品を製造する。日本全国の催事出店なども多く、滝川にありながらエリアにとらわれない仕事ができる。女性の比率が高く、育児中の女性でも働きやすい工夫を取り入れている。

唯木さんの仕事は企画書作成にとどまらない。「商品に貼る」ラベル作りも担当しています。「食品のラベルは、商品を購入する消費者が直接目にする。情報はわかりやすく正確でなければならぬ」「ラベルには原材料や添加物、バーコードが記載されています。商品回収となることも。ミスは許されません」。ラベルの記載内容の確認はもちろん、ラベルの貼り間違いを未然に防ぐことも大切。「ラベルは

食品のラベルの先にお客様がいる



ぱっと見た感じでは、違いがわかりにくいので、例えばチーズのラベルを間違ってお肉の商品に貼ってしまう、といったことがないようにしています」。ここでも、情報のやりとりには気を使う。

北海道を離れたから
 魅力に気づいた

唯木さんが北海道に戻ってきたのは3年前。就職活動の時だった。「大学では食品系の分野を学んでいたんで、それを生かしたいと思って

いました。東京でも就活していましたが、やっぱり生まれ育った北海道がいいなと思いい、(同社)入社しました」。

一度、北海道を離れ首都圏に出たから魅力に気づいたとも言います。「北海道は、とにかく自然がいっぱいなところがいい。特に滝川市は田舎すぎず都会すぎず、生活で困ることはありません。周辺にアクティビティも充実していて楽しいです。先日は中富良野町でラフティングしてきました」。そう笑顔で話す唯木さんからは、中空知での充実した暮らしが伝わってきた。



何度もお客様とやりとりしてやっと完成します。

滝川市

株式会社クレストジャパン
 品質管理部
 ただきりえ
唯木 理衣 さん
 (25)

沼田町出身。神奈川県で食品関係の専門に学ぶ。卒業後、北海道へUターン。休日はドライブやスキーなどアクティブに過ごす。

商品の企画が通るまで何度もやり直す

スイーツを作るだけが食品メーカーの仕事ではない。「企画書をお客様に提出しても、一度では通りません。担当者とは何度も話し合い、修正します」と話すのは唯木理衣さん。株式会社クレストジャパンで品質管理を担当する。他社商品の製造も請負う同社。原材料の企画書作成は品質管理の仕事だ。今、食品の原材料表示に対して、消費者の目は厳しい。そのため、「企画書への要望はとて細かい。それに応えるのが大変」。現場でのコミュニケーション力が試されるが「その分、完成時の嬉しさは大きいです」。



※ 島さんの休日 ☺

7:00 起床

7:10 朝食

8:00 息子の野球応援



小学6年生の息子が野球チームに入っています!

12:00 昼食

滝川市の少年野球場は設備が充実しています!

私も会社の野球チームでキャプテンをしています!

18:00 夕食

23:00 就寝



【会社情報】



ソメスサドル株式会社

砂川市北光237-6 TEL 0125-53-5111
<http://www.somes.co.jp>
 従業員数/97名
 事業内容/乗馬用、競馬用馬具の製造及び販売
 革製靴、革小物、その他革製品の製造及び販売

歌志内市で創業。国内唯一の馬具メーカーであり、馬具の技術を生かした皮製品ブランドとしても知られる。品質の高さから、宮内庁への馬車具の納入も行っている。



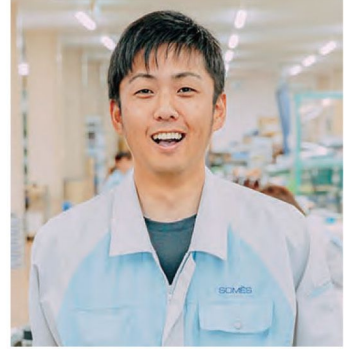
強度がいるところ、
大事なところほど、
手じゃないと。

砂川市

ソメスサドル株式会社
製造部

ゆうき
島 由樹さん
(34)

砂川市出身。高校卒業後、新卒で同社に入社。学生時代は野球に没頭。現在は3人の子どもの父でもある。休日は息子の野球の練習に付き添う日々。



まずは皮を見極める
同じ皮は一枚もないから

「馬具は、人の命に関わるもの。強度にはこだわります」と工房内を案内してくれたのは島由樹さん。ソメスサドルで馬具作りになさる。同じ皮は一枚ありません。特に繊維の方向に気を使います。例えば手綱は引張って皮が伸びてしまつたら、とても危険。繊維の方向と、力を加える方向が同じにならないように注意します。」

同社は日本で唯一の馬具メーカー。その品質の高さで、一流騎手からの信頼も厚い。「いつか有名ジョッキーの鞍を作りたい。馬具に触れるうちに、競馬も好きになりました。」

パドックで実感
人の命を預かる仕事



「札幌競馬場のパドックで、馬を目の前にして感激しました。自分が関わった馬具がつけられていた。すごいな」と。それと同時に、「人の命を預かっている、という責任をあらためて感じました。使っている人の話を聞いて、もっと工夫できないかと考えるようになりました。」

こうしたものづくりの技術習得には修行が必要。この道15年になる島さんも、新人の頃、泣きながら手縫いの練習をしたことがあった。「馬具に



関わらず、強度が必要な部分は必ず手縫いです。硬い皮に2本の針で同時に縫い合わせていく。それには技術も手や指の力も、全てが力不足でした。地道な鍛錬には、先輩からの指導も欠かせなかったという。

手仕事の現場は
体育会気質かもしれない

「若い頃は先輩に結構怒られました。うちは意外と体育会系かも。社内には野球部もありますし。そこに所属していたおかげで、仕事を超えた

先輩後輩のつながりに助けられました。高校時代には甲子園を目指していたという島さん。今では野球部のキャプテンを務めるが、先輩への指示出しは、「守備位置守ってもらってもいいですか?」と控えめに言います(笑)。

休日も息子さんの野球の練習につきっきりだとか。「中空知は野球のレベルが高いんです。野球場設備もなかなかいい。環境の良さもレベルが高い理由かなあ」と夢中で話す島さん。その野球への熱量は、きつものづくりへの熱量にも通じているはずだ。

※ 六田さんの休日 ☺

7:00 起床
滝川市や旭川市、札幌市などによく行きます

9:30 お出かけ

12:00 友達とごはん
友達の家でピザパーティをしました!

16:00 友達とバッティングセンター
うまく当てられたいときは気分爽快! ストレス解消!

18:00 夕食
カレーをよく作ります

20:00 ウォーキング

22:00 就寝

【会社情報】



大旺鋼球製造株式会社
北海道工場

芦別市上芦別町118番125 TEL 0124-23-0061
http://www.daio-steelball.co.jp/
従業員数/42名(女性9名)
事業内容/各種鋼球の製造・販売

鋼球製造専門メーカー。専門メーカーは同社を含めて国内3社のみ。地震等の災害も少なく、住環境の整った芦別市に工場を構える。清潔な工場内と働きやすい環境から、女性従業員も多い。

ものづくりの現場で
専門知識を生かしたい

六田さんは高専の電気情報工学科出身。学生時代から工業系のものづくりに興味があったそう。「学んだ専門知識を生かしたかったし、生まれ育った北海道で働きたいと思っていました」。

そして縁あって同社に入社。検査係に配属された。「製品は検査係のOKが出ないと出荷されません。だから自分の判断が製品の品質に結びつく。毎日緊張します」。そう言っていて、顕微鏡をのぞく六田さん。傷



炭鉱で栄えた町は
エネルギーあふれる町

休日には中空知の大自然に癒されるところ。六田さん「芦別市はとも星がきれい。夏は展望台から天の川がはっきり見えます」。学生時代を過ごした旭川市へ行くことも「友だちに

会いによく行きます。芦別市は旭川市へも札幌市へも1時間半程で行けるのでとても便利です」。

かつて炭鉱で栄えた芦別市。石炭に代わる町の原動力はやはり町人の前向きな姿勢だ。「入社前は工場で作って終わりだと思っていましたが違いました。お客様あつての仕事だから、品質の検査もある。これからしっかりと迅速に検査が行えるよう成長したいです」。小さな鋼球を見つめる視線の先には、六田さんと町の大きな未来があるに違いない。

※ペアリング：摩擦を減らし、モノをスムーズに回転させる部品。携帯電話やシャンプー容器のポンプなどにも使われている。



ろちのチカウ
観察力
Ashibetsu
03

ものづくりは
作って終わりじゃ
ありません。

芦別市

大旺鋼球製造株式会社
北海道工場
品質保証課検査係

ろくた あかね
六田 茜子 さん
(23)

滝川市出身。旭川高専で電子回路を専門に学ぶ。卒業後、新卒で同社に入社。休日はドライブやウォーキング、バッティングセンターと活動的に過ごす。

直径8ミリ以下の
ミクロな世界

例えばボールペンの先で、くるくると回るボール。それが鋼球、言わば金属の球だ。「鋼球は8mm以下のとても小さなもの。多くがペアリング(※)という部品に使われ、私たちの身近で活躍しています」と話す製品検査係の六田茜子さん。入社3年目の若手だ。

「検査では鋼球を製品として出荷できるかを確認します。数十万個のうち1個が不具合でも出荷NG。専用の機械や顕微鏡で厳重に検査します」。検査は鋼球に荷重をかけて硬さを確認したり、表面の粗さを測ったりと多岐にわたり、全ての鋼球に行われる。

